

一般社団法人
日本薬学生連盟(APS-Japan)

2021年度
活動報告書

2022年3月31日
2021年度会長
立命館大学薬学部4年
原田紘行

1. 団体概要

I. 団体名称

一般社団法人日本薬学生連盟

II. 会長

原田紘行(立命館大学薬学部薬学科4年)

III. 沿革

1998 年「薬学生の集い」設立
2004 年 第4回アジア太平洋薬学生シンポジウム in 東京開催
2011 年 日本薬学生連盟に改名
2013 年 一般社団法人化
2013 年 第 12 回アジア太平洋薬学生シンポジウム in 千葉開催
2014 年 事務所を目黒に移転
2016 年 事務所を渋谷に移転
2018 年 第 17 回アジア太平洋薬学生シンポジウム in 山梨開催
2019 年 ロゴの変更
2020 年 公式キャラクター「ふぁ～まびい」の誕生

IV. 目的

薬学の専門性および発展性に寄与する活動を推進し、薬学生の医療に対する意識や能力の向上をはかることにより、日本および国際社会に貢献すること。



2. 組織体制

I. 組織概要

〈役員 9名〉

会長	原田紘行	立命館大学	4 年
副会長	岸怜央	東京薬科大学	4 年
会計統括理事	石田真那	明治薬科大学	4 年
財務統括理事	小林幸恵	東邦大学	4 年
外務統括理事	栗原百萌	慶應義塾大学	3 年
内務統括理事	長田紀俊	東京薬科大学	4 年
広報統括理事	山沢智	日本薬科大学	5 年
国際渉外統括理事	木村菜菜子	北里大学	3 年
プロモーション統括理事	坂田花	東邦大学	3 年

〈委員長 4名〉

交換留学委員長	中井悠花	大阪大学	3 年
公衆衛生委員長	小野優花	愛知学院大学	3 年
地域連携委員長	仲尾友里	東邦大学	4 年
学術・薬学教育委員長	小島基彰	摂南大学	4 年

〈支部長 5名〉

東北支部長	鷹木駿	岩手医科薬科大学	2 年
関東支部長	金久絵里奈	東京薬科大学	3 年
東海支部長	百瀬真梨	名城大学	5 年
関西支部長	山本航大	神戸学院大学	2 年
九州支部長	小阪怜二	崇城大学	4 年

II. 会員数

約 600 人(会員所属校数: 72 大学) (2022 年 3 月 31 日現在)

III. 協力団体

13 団体

【北海道・東北】

Pharm*H 北海道科学大学・北海道医療大学
薬学研究会 岩手医科大学

【関東】

Bel's 城西大学
SNU 日本大学
HARVEST 東京薬科大学
ADME 東京理科大学
Yaqoo 東邦大学
μstream 明治薬科大学

【関西】

医療系同好会PARC 大阪医科薬科大学
Papavera 京都薬科大学
薬学研究会(やくけんR) 立命館大学
P-CUBE 神戸学院大学
漢方研究会 摂南大学



3. 事業活動

I. 活動方針

定款第3条に掲げる本団体の目的に沿い、薬学の専門性及び発展性に寄与する活動を推進し、薬学生の医療に対する意識や能力の向上をはかることにより、日本及び国際社会に貢献することを目的とした諸事業を遂行する。

II. 事業内容

1 定例シンポジウムの開催

○ 新入生歓迎会の開催

2021年度薬学部入学者を主な対象者として、本団体を知り活動を始めるきっかけとなる場としてZoomを用いて4回(関東・東海・関西九州・地域連携)実施した。「殻を破る」をテーマに掲げ、団体紹介や活動紹介に加えて参加した学生同士の交流を促すためにワークショップ企画を開催し、その支部の規模拡大を目指すと同時に支部内での学生の交流を促進するように努めた。

- 関東新歓 2021年5月9日開催
方法 Zoom
参加者数 48名
- 東海新歓 2021年5月23日開催
方法 Zoom
参加者数 25名
- 関西・九州合同新歓 2021年5月15日開催
方法 Zoom
参加者数 31名
- 地域連携新歓 2021年5月30日開催
方法 Zoom
参加者数 35名

○ 日本薬学生ジャンボリーの開催

各部署の上半期の活動報告並びに学生間の情報交換・意見交換を活発化する場として、「羽ばたけ！」をテーマとした日本薬学生ジャンボリーを3回開催した。新入生歓迎会同様Zoomを用いて実施した。また、今年度、「薬学生フェスティバル」から「日本薬学生ジャンボリー」に名称を変更した。

- 【第1弾】日本薬学生ジャンボリー2021 2021年10月31日開催
方法 Zoom
参加者数 21名
- 【第2弾】日本薬学生ジャンボリー2021 2021年11月7日開催
方法 Zoom
参加者数 24名
- 【第3弾】日本薬学生ジャンボリー2021 2021年11月21日開催
方法 Zoom
参加者数 16名

- 年会
「繋がり～1歩その先へ～」をテーマに掲げ、2021 年度の活動の総まとめ及び次年度への活動の引き継ぎとしてZoomで実施した。
日時 2022 年 3 月 19,20 日
登録者数 63 名

- 2 International Pharmaceutical Students' Federation(IPSF) および Asia Pacific Regional Office(APRO)との連絡協力
年間を通して本団体の加盟する国際学生組織 IPSF(国際薬学生連盟)、APRO(国際薬学生連盟アジア太平洋支部)との協力体制を維持した。特に、下記国際シンポジウムに日本の薬学生を代表して本団体の学生の参加を促した。
 - 66th IPSF World Congress 2021
日時 2021 年 7 月 22 日～8 月 1 日
主催 韓国(KNAPS)
方法 オンライン
対象 世界中の薬学生

 - 20th IPSF Asia Pacific Pharmaceutical Symposium in Manila, Philippines
日時 2021 年 7 月 2 日～7 月 11 日
主催 フィリピン(FJCPhA)
方法 オンライン
対象 アジア太平洋地区の薬学生

- 3 国際交流を増進する活動
日本で唯一の薬学生の国際的組織として、薬学生に国際的視野を提供すべく IPSF 公認プログラムである、交換留学制度(Student Exchange Programme;SEP)をオンラインにて「Virtual SEP」を遂行した。
 - Virtual Summer SEP 2021 Japan 2021 年 8 月 21,22 日開催
1日目
 - 留学生 212 名
 - 日本人参加者 10 名
 2日目
 - 留学生 152 名
 - 日本人参加者 10 名

 - UF APhA/APS-Japan Joint Forum 2022 年 2 月 20 日開催
● 総参加者 37 名(内訳 日本:12名、アメリカ:25名)

 - Virtual Winter SEP 2022 Japan 2022 年 3 月 12 日開催
● 留学生 10 名
● 日本人参加者 10 名

- 4 公衆衛生に関する活動
本団体は公衆衛生に関する活動として、以下の活動を団体SNSまたはオンラインイベントで遂行した。
 - 世界禁煙デーキャンペーン

- 世界糖尿病デーキャンペーン
- 献血推進運動(Vampire Campaign)
- 災害医療勉強会
- 新型コロナウイルスワクチン勉強会
- 葉酸啓発キャンペーン

5 薬学教育に関する活動

本団体は薬学教育に関する活動として、以下の活動を遂行した。

- オンライン薬局見学
- 専門薬剤師/災害医療に関する講演会や勉強会
- 多職種連携に関する勉強会や交流会
- 薬でつなげるアフリカ×医療
 - 日時 2021年8月15日
 - 方法 Zoom
 - 参加者数 39名
- カナダと日本 薬剤師の今とこれから
 - 日時 2021年8月18日
 - 方法 Zoom
 - 参加者数 20名
- 日本医療薬学会年会
シンポジウム35「医療薬学の魅力を広く伝えるにはどうすべきか薬学生と考える」に座長として登壇。本団体の活動内容の発表と薬学生として医療薬学に対する考えを述べた。
 - 日時 2021年10月10日
 - 方法 Zoom
- 知って欲しい女性のこと！
 - 日時 2022年3月27日
 - 方法 Zoom
 - 参加者数 25名

6 学生間の情報交換、意見共有を活発化する手段の提供

本団体は、学生間の情報交換、意見交流を活発化する場として、以下の活動を遂行した。

- FREEM(1年生交流会)
- 各支部内での交流会
- 各部門・委員会内での交流会・勉強会
- 進路に悩む薬学生集合！～薬学部が多様な道～
 - 日時 2021年8月9日
 - 場所 Zoom
 - 参加者数 25名

7 関連する学生団体との連絡協力

本団体は、提携団体・関連団体との多職種連携を考える場として以下のイベントを各部署において推進した。

- AMSA Japanの新歓にて団体紹介
- IFMSA-Japanの新歓にて団体紹介
- 「In Their Shoes」IFMSA-Japanと武田薬品工業との共催
- 【医療系学生の祭典】～学部を超えてチーム医療を学ぼう～

主催団体	本団体、IFMSA-Japan
共催団体	AMSA Japan, JPTSA, 栄養学生団体【N】
協力団体	JAOTS, TUCES, JDSA
日時	2022 年 2 月 5,6 日
場所	Zoom
総申込者数	約 70 名

- 8 新運営体制の運用
 - 学術・薬学教育委員会の発足
運営体制の都合により、学術委員会と薬学教育委員会を統合し、学術・薬学教育委員会を発足した。
- 9 その他
 - 広報媒体を利用した情報発信
本団体の SNS などの広報媒体を利用した会員の有益となる情報を発信する他、各種関連企業の協力のもと、広報媒体への本団体の活動を掲載した。
 - 各種関連企業の広報媒体への記事掲載
 - i. MIL(エニイクリエイティブ発行)
発行: 2021 年 4、7、10 月、2022 年 1 月
 - ii. 薬学生新聞(薬事日報社発行)
発行: 2021 年 5、7、9、11 月、2022 年 1、3 月
- 10 その他、本団体の目的に沿った活動
本団体は、上記の他に本団体の目的に沿った活動として、以下の活動を遂行した。
 - 各協力団体との合同勉強会
- 11 災害・感染症(新型コロナウイルス)における例年イベントの中止
新型コロナウイルスの流行によりイベントの中止があったことを報告する。対象イベントは以下に示す。
 - IMT(International Medical Tour)
新型コロナウイルスが世界で大流行し、学生の健康における安全面を考慮し中止した。

III. 運営活動

- 1 本部会議
組織運営が円滑に進むよう、本部 Face to Face ミーティング(4 回)と、月例オンラインミーティング(8 回)を開催した。
- 2 支部長会議
支部本部間での情報共有に努めるため、支部長オンラインミーティングを開催した。
- 3 本選挙 2021 年 11 月 27,28 日開催
2022 年度執行部の選出を行うため、Zoomにて2022 年度執行部選挙を遂行した。同日、外務統括理事、内務統括理事、国際渉外統括理事、交換留学委員長、公衆衛生委員長及び地域連携委員長の 2022 年度執行部が決定した。
- 4 第 1 回予備選挙 2021 年 12 月 26 日開催
Zoomにて 2022 年度執行部選挙の第1回予備選挙を遂行した。同日、2022 年度広報統括理事が決定した。



- 5 第 2 回予備選挙 2022 年 2 月 17 日開催
Zoomにて 2022 年度執行部選挙の第2回予備選挙を遂行した。同日、2022 年度会長及びプロモーション統括理事が決定した。
- 6 2021 年度執行部の留任に関して
2022 年度副会長及び会計統括理事、財務統括理事に関しては 2021 年度副会長及び会計統括理事、財務統括理事が留任する。
- 7 2022 年度の学術・薬学教育委員会に関して
運営体制の都合により、学術・薬学教育委員会の活動を休止する。